# 山形県衛生研究所報投稿規定

## 1　投稿者の資格

原則として当所職員とする．ただし，共著者や依頼原稿の場合はこの限りではない．

## 2　原稿の種類

原稿は，総説，原著，短報，資料（図，表，写真等を含む）および抄録とする．

(1)　総説：研究・調査論文の総括，解説．内容，形式は自由とする（原稿 20 枚以内）．

(2)　原著：独創性に富み，新知見を含む研究業績．形式は原則として英文要旨，キーワード，はじめに，材料と方法，結果，考察，文献の区分を設け順に記載する（原稿 20 枚以内）．英文要旨は 250 以内とする．

(3)　短報：断片的な研究業績で，新知見が認められるもの．形式は原著に準ずる（原稿 10 枚以内）．

(4)　資料：試験，検査，調査等で記録しておく必要のあるもの．形式は原則として原著に準ずるが，要旨は日本語で 500 字以内とする（原稿 30 枚以内）．

(5)　抄録：本誌以外の学術雑誌，または学会で発表したもの（800 字以内）．

## 3　原稿の締め切りおよび受理

採否は所属長が決定する．編集は生活企画部が担当する．原稿の締め切り日は毎年 8 月末日とする．

## 4　原稿の書き方

(1)　原稿は“MS-word”や“一太郎”等の文章作成用のソフトを用い作成し，その電子ファイルを衛研ネットワークの所報ホルダーに保存した段階で受け付けとする．

(2)　原稿は A4 版で作成する．標題はＭＳ－ゴシック（12p 太字），英文標題はＭＳ－ゴシック（12p 標準字），図表の表題はＭＳ－ゴシック(10.5p 太字)，著者名は MS-明朝（10.5p 標準字），英文著者名は Century（10.5p 標準字），文章は MS-明朝（9p 標準字）とする．１ページの行数は 37 行とし，余白は上 3.5cm，下，左右 2.5cm とする．ページ番号はつけない．抄録の他誌掲載論文は題名，著者名，雑誌名，巻（号：通し頁の場合は省略），始頁～終頁，発行年を記載する．学会発表は題名，発表者名，学会名，会場都市名をそれぞれ順に記入する．

(3)　図表原稿は希望する場所に，貼り付ける．カラー写真や図も受け付ける．

(4)　原稿は当用漢字，現代かなづかいを用い，簡潔で理解しやすい表現にする．本文は２段組とする．文字数は一行２５字程度とする．行を改めるときは１字空けて書き始める．数字は算用数字を用い，単位は（SI)を用いる．

(5)　文献は，本文の引用ヶ所の右肩に 1)，1)～5)のように示し，引用文献は，次の形式で論文の最後に引用順にまとめて記載する．著者名は原則として５名まで記入し，それ以上については，和文では，“他”，欧文では“et al”とする．雑誌名は和文誌名の場合略記せずに完全誌名を記し，欧文誌の場合は国際的慣行に従って略記する．

雑誌の例　番号）著者名：表題，雑誌名巻（号），始頁～終頁，発行年

１）　堀口申作，斉藤洋三：栃木県日光地区におけるスギ花粉症 Japanese Cedar Pollinosis の発見，アレルギー　13,16～18,1964

２）　Brewster DH, Broun MI, et al ： An Outbreak of Escherchia coli O157 Associated with a Children's Paddling Pool, Epidemiol Infect 112(3),441～448,1994

単行本の例　番号）著者名：表題，書名，出版社，出版地（出版年），pp.始頁～終頁，

１）　斉藤行生：農薬等による環境汚染，食品衛生ハンドブック，藤原喜久夫，栗飯原景昭　監修，南江堂，東京（1992），pp.670～682

２）　Doll R, Peto R ： The Causes of Cancer, Oxford University Press, New York(1981), pp.120～124

(6)　脚注は，本文に＊を用い記述する．

(7)　要旨は原稿の種類にかかわらず本文を読まなくても,内容の要点が理解できるように作成する.キーワードは５語以内とする．表題および要旨から抽出する．なお不十分な場合は本文から補充する．キーワードは国際的に広く通用するものにする．

## 5　その他

編集に関する必要事項は生活企画部が提案し所属長が決定する．著者校正は行わず，所内での決裁時に，投稿者は各自の論文を確認する．ページを付ける作業，PDF 化及びホームページへアップロードする作業は生活企画部が行う．原則として最終決裁後の新たな追加あるいは修正は認めない．

## 6　適用

この投稿規定は，2008 年 9 月 1 日から適用する．